

漁況予報 いわし

第168号

2011年11～12月漁期
(2011年11月15日発行)

※1 平年：過去5年平均
※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概況 =

【マイワシ】

主要定置網における9月のマイワシ総漁獲量は26トンで、不漁だった前年(1トン)は上回ったものの、平年^{※1}(78トン)を大きく下回りました。続く10月の総漁獲量は44トン(速報値)で、不漁だった前年(2トン)および平年(37トン)を上回りました。

佐島地区のまき網は、9、10月とも鮮魚としての水揚げが好調に継続しました。魚体は、10月のまき網漁獲物では被鱗体長^{※2}(以下同)14～16cmの小羽～中羽マイワシが主体で、18cm以上の大羽マイワシも混獲されました。これは前者が2011年生まれの0歳魚、後者が1歳魚以上と推定されます。

今年は静岡以西でも0歳魚(2011年級)が好漁の海域が多く、このことから太平洋沿岸域におけるマイワシ2011年級群の資源豊度は高いものと考えられます。一方、常磐・房総海域の大中型まき網では大羽サイズの1歳魚(2010年級群)主体の群が漁獲されており、今後これらが南下して沖合から来遊すると推定されます。

【カタクチイワシ】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、9月が0.05トン、10月が0.02トン(速報値)であり、不漁だった前年(9月2トン、10月2トン)および平年(9月46トン、10月13トン)を大幅に下回りました。

佐島地区のまき網は、餌イワシとしての漁獲が継続しましたが、低調に推移しました。

魚体は、まき網漁獲物では9cm未満の未成魚が主体でした。

今後も湾内に滞留した未成魚主体の漁獲になると考えられますが、近年の傾向から12月に沖合より1歳魚以上の群が来遊する可能性もあります。

【シラス】

相模湾のシラス船びき網によるシラス漁獲量(標本船データより推定)は、9月には前年を上回り平年並み、10月には前年、平年並みの漁獲量でした(前年比9月1.4倍、10月1.0倍、平年比9月0.9倍、10月1.1倍)。9月初頭の台風12号通過後および10月中旬の暖水波及時には、一時的に好漁となりました。

漁獲物は9、10月とも、例年どおりカタクチシラス(カタクチイワシ仔魚)主体でした。

今後は例年どおり、ゆるやかに漁獲が減少していくものと考えられますが、10月下旬からサイズの小さなシラスが来遊しており、海況次第で一時的に好漁になることも期待されます。

= 予報 =

【マイワシ】

今漁期は、2011年生まれの中羽マイワシ(15～17cm)および2010年生まれの大羽マイワシ(18～20cm)が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、8～9月の北部太平洋におけるマイワシの資源状況から、前年を下回る約550トンと予測されます。

【カタクチイワシ】

今漁期は、ひきつづき9cm未満の未成魚が漁獲の主体となるでしょう。

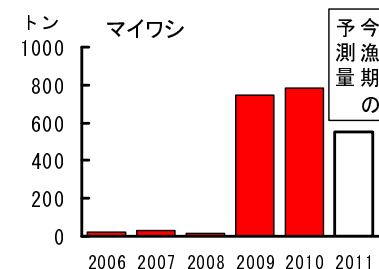
今漁期の漁獲量は、9～10月の県内主要定置網の漁獲量から、前年同様低水準の約15トンと予測されますが、沖合から1歳魚以上の来遊があった場合、予測値を上回ることも考えられます。

【シラス】

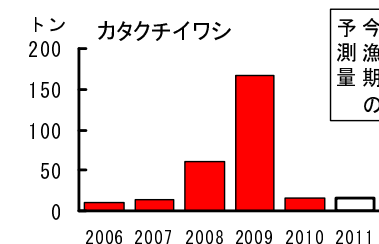
今漁期は、9～10月に発生したカタクチシラスが漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、10月の標本船シラス漁獲量から、前年並みの約70トンと予測されます。

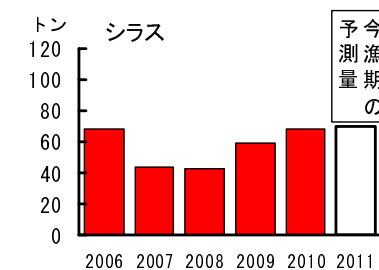
過去5年の11・12月漁期の漁獲量
と今漁期の予測量



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網



神奈川県水産技術センター資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313